

あなたとつなぐ



議会

No.84 新 城 市 議 会
令和7年8月発行

6月定例会

■ 特集 行政視察報告	1~2
■ 一般質問	3~10
■ 主な議案の内容・政務活動費	11
■ 県提出意見書	12
■ 議決結果一覧	13
■ 委員会インフォメーション	14
■ 学校給食センター勉強会	15

《特集 行政視察報告》

総務経済委員会

○委員 竹下修平、小林秀徳

佐宗龍俊、鈴木達雄

○日程 4月23日(水)～25日(金)

滋賀県長浜市

長浜市における法令順守の推進と公益通報制度について

「目的」内部統制整備をどのような考えで進めているのか、内部公益通報対応、職員への周知、また、どのような施策を実施しているか現況を学ぶため。

「概要」市民の皆さんからの通報も、職員からの通報と同じように受け付けることとしている。また、市に対する要望や苦情等は、公益通報とならないので、これまでどおり電話や電子メール等で、市の指定している内部統制推進室を窓口として実施している。内部統制の運用については、年間を通じてリスク管理シートに基づき発生した事務事故等の原因を追究し、効果的な再発防止策を講じること、組織力の向上に取り組んでいる。

長野県白馬村

災害発生時の実際の議員の行動及び議会の対応について

「目的」2014年に長野県神城断層地震が発生した際の白馬

村議会及び議員の実際の対応を知ることで、新城市議会災害対応基本計画の見直しを図ることを目的とする。また、南海トラフ地震による人的被害を抑えるための施策検討の参考とする。

「概要」発災後、最初に議員が集合した時に、「議員が先走って動かない」「行政の邪魔をしない」「行政から依頼があればそれに応える」「議会・議員は裏方に徹する」という方針を確認し、それに基づいて議会が対応したことが大きな混乱を招くリスク回避につながったと考えられる。

静岡県三島市

優良田園住宅について

「目的」三島市における優良田園住宅に関するこれまでの取組と今後の展望について、本市における優良田園住宅制度の改善・利用促進に繋がる施策を模索するため。

「概要」三島市と本市では市の現況、周辺環境、居住動向等、様々な点で相違点があり、本市よりも三島市に対して居住地を求めている需要が圧倒的に高かった。また、市街化区域内における未利用地が少ないことも相まって当該制度の活用が進んだと考えられる。本市においても、優良田園住宅制度の利用促進よりも居住ニーズを増やすための施策推進が必要と感じた。

○委員 齊藤竜也、小野田直美

村田康助、山口洋一

滝川健司

○日程 5月14日(水)～16日(金)

熊本県益城町

熊本地震とその後の取組について

「目的」熊本地震で震度7を続けて2回経験した町の、震災前の取組と発災直後の状況および復旧復興に向けての取組について学ぶため。

「概要」震災前に地域防災計画において、災害対策本部の組織や各課の事務分掌を決定していたが、避難所業務に追われて人員が不足し、災害対策本部が機能しなかった。備蓄物資も、哺乳瓶が無かったり、おむつのサイズが無かったりという状況であったため、大災害に備えてきめ細やかな「使える計画」を作っておくことが重要とのことであった。

佐賀県武雄市

行政改革プランと窓口業務民間委託について

「目的」合併の状況等、本市によく似たまちにおける行政改革プランを参考とするため。また、令和3年10月から始まった窓口業務民間委託について、その成果と市民の反応を伺うため。

「概要」平成18年3月に新設合併をしたが、合併支援措置の地方交付税の廃止に加え、職員適正化に基づく人員削減、市民サービスの質を維持することの重要性を重視し、令和3年度から第4次行政改革プランにて行政サービスの民間委託を推進した。これによって大幅な歳出削減を実現したことは大きな成果であったと考える。

佐賀県唐津市

内部統制制度について

「目的」制度導入の経緯と成果、その後について学ぶため。

「概要」平成29年の地方自治法一部改正の趣旨を踏まえ、住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、阻害要因をリスクとして識別および評価し、対応策を講じること、事務の適正な執行を確保するために内部統制に関する各種取組を推進した。その結果、危険性リスクに対して、職員全員で対応していこうと法令やルールを守ろうという意識が向上したことは成果である。



厚生文教委員会

○委員 鈴木長良、カークランド陽子

今泉吉孝、浅尾洋平

柴田賢治郎、山田辰也

長田共永、中西宏彰

丸山隆弘

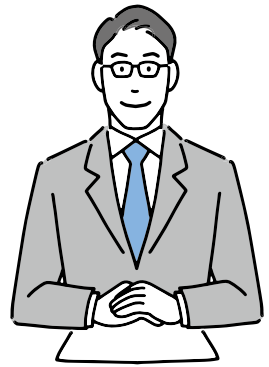
○日程 5月12日(月)～14日(水)

奈良県天理市

子育て応援・相談センター ほっとステーションについて

「目的」離職率の低下を達成した制度や設置経緯を学ぶため。

「概要」教育現場の離職者が多く出たことから、子育て応援・相談センターとして「ほっとステーション」を設置した天理市は、住民の学校に対する要望を直接学校に届けるのではなく、行政としてセンターを通じた関与をすることで、現場の状況を把握するとともに、教師たちが教育事業に集中できる状況を作り、離職率の低下を達成している現場を見て、今の教育の現場に必要なものだと感じた。2015年に地方教育行政の組織および運営に関する法律が改正され、教育委員の互選で教育委員長を決める制度から市長の任命による教育長制度になった。教育現場はより自治体の意思を反映させることができ、本市でもその必要を議論する時期だと感じた。



京都府亀岡市

義務教育学校について

「目的」義務教育学校の具体的な導入経緯と運営の実態を学び、今後の本市における学校再編の参考とするため。

「概要」亀岡市では、児童・生徒数の減少と地域間の偏在に対応するため、平成28年に「学校規模適正化基本方針」を策定し、学校再編を推進。その中で義務教育学校制度を導入し、市内に2校を設置している。

育親学園は、3つの小学校と1つの中学校を統合し、令和6年4月に開校。住民の不安や意見に真摯に向き合い、20回以上の説明会を通じて丁寧に合意形成を図った。一貫教育を行う「4-3-2制」を採用し、中1ギャップの緩和や学年間交流による社会性育成が期待されている。

また、地域の自然や文化を学ぶ「ふるさと科」を導入し、郷土愛の醸成と地域との連携が進

められている。新校舎建設も進行中で、完成後は自校調理による給食提供を予定しており、食育にも寄与する。建設費は約44.2億円で、国庫支出金・交付金・起債などで賄われる。今回の視察は、少子化が進む本市にとっても参考となり、今後の学校再編の検討に生かしていきたい。



大阪府枚方市

認知症に対する 相談・支援について

「目的」認知症に対する支援が充実している枚方市の認知症施策推進計画を学び本市の対策を進めるため。

「概要」枚方市では「認知症施策推進計画準備事業」を立ち上げ、市民や地域住民が、これについて理解を深めるための勉強会や、認知症当事者などが講演をする普及啓発イベント「オレンジレセプション」の開催、認知症の方や、その家族の意見を丁寧に聴く場の設置、また、認知症の方やその家族への理解を深めるための勉強会を開催している。これらの事業を通して市民の意識を、「他人事」ではなく「自分事」として考える「新しい認知症観」を認識してもらった。本市でも、市民の認知症に対する意識を、どのように醸成していくのが課題の一つであると感じた。



6月定例会では、16人が一般質問に登壇し、市の見解を質問しました。
一般質問とは、議員個人の立場で質問するものです。

総務部長

1 担当者が業務全体の流れを理解し、適切な事務処理を行うため

2 効率的で効果的な業務の遂行のために活用されているDXの実施状況と考え方は。
3 リスクの評価と対応策は。
4 柔軟に対応するために、内部統制制度を導入する予定は。

本市における法令違反を防ぐリスク管理と今後における内部統制の実施について伺う。
1 本市の業務手順書の考え方と効果は。



小林秀徳
議員

動画でチェック▶



Q. 本市の業務手順書の考え方は。

A. 業務全体の流れを理解し、適切な事務処理を行うために整備している。

※ AI 人工知能
※ RPA パソコンで行う定型業務を自動化する仕組み

3 事務上のリスクを無くすために、当該リスクに対する対策を洗い出しているが、常に見直しを行い、さらにリスクを減らしていく取組が必要であると認識している。
4 従来の業務手順書は生かしつつ、リスク発生の可能性頻度やリスクが市民に与える影響度といった要素を盛り込み、業務手順書の質を高めていく必要があると考える。

に整備している。業務中に潜むリスクへの対策を行うことで、リスク発生を防ぐ役割を持っている。また、業務手順書を整備することでリスクを回避できる効果がある。
2 新城市DX推進計画に基づきAI、RPAなどICT技術による業務効率化を進めている。特にRPAの導入により、作業時間の削減や入力ミス減少などに効果を期待している。業務改善の強力なツールとして、さらに利用を増やしていきたい。



佐宗龍俊
議員

動画でチェック▶



Q. 自転車競技の今後について。

A. コースを変更して新城ロードレースとアジア競技大会自転車競技を検討中。

新城モビリティフェスタ2024における自転車ロードレースの総括と自転車競技の今後を伺う。
1 新城ロードレース2024の評価は。
2 アジア・アジアパラ競技大会のコースを桜洲公園発着にできない要因は。
3 アジア・アジアパラ競技大会の候補として、鬼久保ふれあい広場発着コースを選んだ理由は。
4 新城ロードレース2024での課題や反省点は新たなコースでの運営に生かされるのか。
5 今後の自転車競技開催までのスケジュールは。

産業振興部長

1 大会を楽しんでいただいた方がいる一方で、迂回路が不十分だったという意見があった。事業者からは、日曜日の午前中開催だったため、大きな問題はなかったが、日曜日に稼働している事業所には調整が必要だったことや周知不足等の意見があった。

2 タイムトライアルという種目は、特に長時間の公道封鎖が必要になり、住民や事業者への影響が大きいと判断したため。

3 長時間の公道封鎖を伴うタイムトライアルの実施場所として、本宮山スカイラインを使用することで住民や事業者の負担が軽減できると考えるため。

4 課題や反省点は組織委員会に共有し、各団体と連携し生かしていきたい。

5 住民や周辺事業者等への説明を行い、理解を得て進めていく。

その他の質問事項

・新城市制20周年記念事業について



竹下修平
議員

動画でチェック▶



Q. 国道151号一宮バイパスの進捗状況は。

A. 令和7年度は用地補償の契約を締結する予定。

- ① 国道151号一宮バイパスについて伺う。
- ② 直近1年間での会合や要望会等の実施状況は。
- ③ 直近1年間における事業の進捗状況は。
- ④ 課題や懸念点は。
- ⑤ 今後のスケジュールと開通に向けた見通しは。

建設部長

- ① 4回の要望活動を行った。
- ② 担当である新城設楽建設事務所における事業の概要については、地質調査、軟弱地盤解析、

その他の質問事項

- 優良田園住宅制度について
- 新城市民病院について



- ③ 工事に着手すると交通規制が発生する。沿線住民の方々の理解と協力を得ながら進めることが大切だと考えている。バイパス沿線においては、狭い道路が多いことが課題と認識している。
- ④ 豊川インターチェンジ付近から豊川市内の市道上長山一宮線までの区間については用地買収が98%進んでいると聞いている。川田地内までの区間については、設計や用地買収を進めている段階である。用地買収が進めば、工事に着手していく予定である。



鈴木長良
議員

動画でチェック▶



Q. 本市のフレイル・介護予防活動の取組内容は。

A. 木曜塾で介護予防体操や脳トレなどを行っている。

健康福祉部長

- ① 令和6年度の暫定で国民健康保険特定健康診査等の65歳から74歳までの受診率は50%。後期高齢者医療健康診査等の75歳以上の受診率は43.5%。

- ② 高齢者の健康づくりとフレイル予防について伺う。
- ③ 健康診査の受診状況について。
- ④ 市内開催の健康教室への参加状況について。
- ⑤ 健康づくりに対する自己目標への取組状況について。
- ⑥ フレイル予防の取組について。

その他の質問事項

- 本市の森林管理について

- ② 市で把握できるものとして、各地区の要望に応じ健康の保持増進のための栄養や口腔などの教育や相談等を実施しており、参加者数は延べ447人だった。
- ③ 令和6年度のしんしろ健康マイレージに参加した高齢者29人のうち20人が市内在住の方で、運動教室、ヨガ・ボール体操、健康体操、疾病予防や介護予防教室に参加している。
- ④ 令和6年度のしんしろ健康マイレージに参加した高齢者29人のうち自己目標を掲げて取り組んでいる方は27人。
- ⑤ 地域において健康で活動的な日常生活を送ることを目的に「木曜塾」を開催しており、介護予防体操や脳トレ、レクリエーション等を実施。さらに、各地区での介護教室やミニデイに講師の派遣や運営費の支援を行っている。身近な場所で定期的に行われる集いが活性化することで、地域住民の社会参加や孤立予防に寄与している。



山口洋一
議員

動画でチェック▶



Q.施設の再々更新に対する考えは。

A.市民の不安が取り除かれる更新となるよう強く要請した。

新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設について伺う。

- 1 施設の補修および改修内容は。
- 2 改修により施設の臭気が無くなるか。
- 3 令和7年11月の施設の再々更新に対する考えは。

市民協働部長

1 外壁については、老朽化している壁の張り替え、内側の胴縁の腐食が激しい箇所については補修を進めており、6月中旬に完了する見込みである。また、エアレーション用のダクト、発酵

槽、負圧については、老朽化した部分を撤去し、順次新しいものに更新中であり、8月末に完了する見込みであると事業者を確認している。

2 事業所からの臭気を皆無にすることは非常に困難ではあるが、改修により、臭気が低減されるものと認識している。

市長

3 令和7年2月に愛知県新城設楽振興事務所を訪問した際に、県に対し11月に期限を迎える処分業許可更新については厳格に審査し、市民の不安が取り除かれる更新となるよう強く要請した。

そのほかの質問事項

● 豊橋新城スマートーC（仮称）について



小野田直美
議員

動画でチェック▶



Q.南海トラフ地震の対策は。

A.被害想定に基づき各部門がそれぞれ対策を行っている。

南海トラフ地震の対策や課題について伺う。

- 1 電力
- 2 上水道・下水道
- 3 食料・水などの備蓄
- 4 指定福祉避難所の内、高齢者施設と障がい者施設
- 5 市民病院

総務部長

1 中部電力パワーグリッド新城営業所と「災害時における相互協力に関する協定」を締結しており、停電復旧作業時の迅速な対応を目指している。また、非常

用発電機の備蓄など電気エネルギーの確保に努めている。

2 新城市上下水道部業務継続計画に基づき、震災時の応急給水などを行う応急対策について、迅速での確に行えるよう地震防災訓練を実施している。課題は、給水車の運転可能な職員の確保である。

3 備蓄は、想定避難者数5,500人に対して2日分を目安としており、品目ごとの賞味期限に合わせ更新している。課題は人口や災害被害予測の変化等に応じた総括的な備蓄計画の見直しなど、情勢に合わせた準備が必要であると考えらる。

4 今年度、福祉避難所の設置運営に関する協定を新城福祉会と締結し、新たに西部福祉会館を福祉避難所として追加した。

5 防災資機材等の整備、防火・防災訓練の実施、行政機関や各種医療機関との連携強化など、入院患者をはじめとする来院者や職員等の安全確保を行う。課題は、市民病院で勤務する職員の半数以上が市外在住のため、発災が休診日や夜間の場合における対応と認識している。



丸山隆弘
議員

動画でチェック▶



Q. 長篠橋の今後の対応は。

A. 修繕ではなく撤去と考えている。

長篠橋調査報告書に関する今後の対応について伺う。

①「今後の対応」と「委員会からの提言」について。

②市民の主張に対する認識とその対応は。

③周辺環境の整備について。

建設部長

①今後の対応については、橋の床板に力が入っていることが疑われ、従来の撤去工事からは条件が違うことも考えられるので、調査結果を十分分析したうえで工法検討していくことが重要であると認識している。委員会か

らの意見については、損傷要因は支点移動の影響の可能性が高く、橋全体も変形していることから「補修後のリスクを回避する観点から、撤去するという考えは適切と考える」との意見があった。これらの意見を踏まえて、修繕ではなく撤去を考えている。

②修繕は難しく撤去すること、長篠大橋へ集約し、そのための周辺道路を整備することについて、おおむね理解いただけたと認識している。災害時に長篠大橋まで損傷した場合の不安などにより、架け替えを強く望む声も確認している。今後は、周辺道路整備について意見を聞きながら、集約撤去を進めていきたいと考えている。

③現時点では新たな橋梁整備は考えていない。地元説明会での意見、要望を踏まえ、周辺道路の整備と撤去に向けて概略設計業務を進めていく。

そのほかの質問事項

- 国指定文化財長篠城跡における整備について
- ラジオ放送のFM放送移行について



鈴木達雄
議員

動画でチェック▶



Q. 単線化による列車の便数は。

A. 発車時刻の調整が必要な列車が5便ある見込み。

JR飯田線本長篠駅は、構内の地盤沈下に対する防災対策のため駅舎とホームが移設され線路が単線化されるが、利便性の確保について伺う。

- ①列車の便数は維持できるか。
- ②駅前に駐車スペースが確保できるか。
- ③窓口業務と利用客用トイレは。
- ④バリアフリーに対応しているか。
- ⑤路線バスとの接続およびバスターミナルとの連続性の向上につながるか。

産業振興部長

- ①JR飯田線本長篠駅の単線化により列車の便数は変えないが、行き違いや待避ができなくなることで時刻調整が必要となり、最大30分程度の変更が見込まれる列車が5便あるとJR東海から説明を受けている。詳細は決まり次第、連絡予定である。
- ②現在よりも広い駐車スペースが確保される予定。
- ③窓口業務施設は、新たに設置される待合所に併設する予定である。駅構内のトイレは今回の整備で撤去され、新設の予定はない。
- ④駅舎からホームまで段差なく移動できるようバリアフリーに対応した構造になるとのこと。
- ⑤本長篠駅とバスターミナルに双方の運行情報などを確認できるデジタルサイネージの設置や経路上に分かりやすい案内表示など、乗り継ぎ環境の改善を図りたいと考えている。

そのほかの質問事項

- 盛土規制について
- 市長マニフェストの取組状況について



カーランド陽子
議員
動画でチェック▶

- Q.** システム導入後の市民へのサポートは。
A. システムの使い方が分からない方には、窓口で使い方を説明している。

本市の施設の予約方法について伺う。

- 1 以前の予約方法と新たなシステムでの予約方法は。
- 2 新システム導入後の市民の反応とシステムを使いこなせない市民へのサポート体制は。
- 3 施設によって申込時期が異なるのはなぜか。

企画部長

- 1 以前は、直接、市役所や施設で紙による利用申込書を記入する方法だった。システム導入後は、パソコンやスマートフォン

を利用して、オンラインで施設の利用申し込みができるようになった。

- 2 月初めに施設予約のために市役所担当課に始業前から並ぶことがなくなったため、導入により利便性が向上したものと理解している。また、従来通りの紙による予約受付も行っている。システムの使い方が分からない方には、市役所や施設の窓口で使い方を丁寧に説明している。また、実際にシステムを操作する機会も設けている。
- 3 申込時期は、施設設置管理条例で定められているため。

そのほかの質問事項

- 事業精査と事務事業評価公開の進捗について
- 本市の生物多様性と有機農業について
- 新城市民病院建替えについて



山田辰也
議員
動画でチェック▶

- Q.** 遊び場などの環境づくりで重要な点は。
A. 安全・安心して自由に遊びを創造できる環境づくり。

千郷地区のこども園再編・整備について伺う。

- 1 千郷西こども園と千郷中こども園を統合し新園を建設する方向が示されたが、これまでの経緯と建設用地決定までの議論はどのように行ったか。
- 2 今後の保護者や地元への説明は。
- 3 遊び場等の環境づくりの重要な点は。

健康福祉部長

- 1 庁内での選定会議で、法規制をはじめ保育や周辺環境に与える

影響、周辺道路や土地形状など総合的に検討した。その結果、稲木公民館の西側用地を候補地として選定。その後、地権者へ意向を確認し、千郷地区区長会と周辺住民へ報告し同意を得ることができたため、建設用地として決定した。

- 2 保護者や地元への説明はもちろん一緒に協議していく必要がある。今年度設立された「千郷地域まちづくり会議」を通じて、意見をいただきながら進めていく。
- 3 屋外では、3歳以上児と3歳未満児の遊び方や遊具・設備等の違いから明確に区域を分けることや、屋内では近年の暑さ対策や雨天時に備えて、屋内でも快適に活動できるスペースや、自由に遊びを創造できる環境づくりも重要だと考えている。

そのほかの質問事項

- 元愛知県立新城東高等学校用地活用について
- 本市の水道料金について
- 「Z世代課」について
- NHKとの受信契約について



柴田賢治郎
議員

動画でチェック▶



Q. 長篠橋の迂回路対策は。

A. ナビ機能での案内停止を依頼、案内看板の見直しを行う。

長篠橋の使用停止について伺う。

① 長篠橋を架け替えしないと決めた時期が早いと感じるがどうか。

② 市計画に組み込む新しい橋を作る必要があると考えるがどうか。

③ 大型車両が迷い込み方向転換による事故が起きる可能性と対策について伺う。

建設部長

① 令和5年10月の点検により重大な損傷が発見され、同年11月8

日から通行止め措置をとっている。その後、大学教授や国の専門機関の職員を含めた対策検討会を令和6年4月、11月に2回開催し、その後の調査報告書を取りまとめ、それに基づき市の方針を決定した。

② 今後、新たに都市計画を変更するような土地利用計画が生まれ、国道の渋滞が発生するなどの状況変化があった場合は、検討することがあるかもしれない。現段階では、同じ場所での架け替えが難しいと予想される点や多額の費用と長い事業期間を要することから、新しい橋の建設は難しいと考えている。

③ 愛知県に依頼し、カーナビゲーションシステムやスマートフォンのナビ機能でのルート案内をしないよう対応をお願いしている。また、国道151号での案内看板の見直しなど追加での現場対応を実施していく。

そのほかの質問事項

● 自転車ロードレースについて



今泉吉孝
議員

動画でチェック▶



Q. 市内にある文化財・観光看板の枚数は。

A. 教育委員会が設置 108枚
観光課が所管 123枚。

市内の文化財や観光等の看板について伺う。

① 市内にある看板の枚数は。

② なぜ看板が汚れた状態のまま放置しているのか。

③ 令和3年12月の本会議質疑答弁にあったQRコードを貼ることによる対応はどうなったか。

教育部長

① 文化財に関する看板で教育委員会が設置し確認できる枚数は108枚。このほかに史跡名のみを表示した古い看板などもあり、看板の実数は把握できてい

ない。また、観光課が所管している看板は123枚。

② 看板の損傷状況は市民等からの情報提供を受け、現地確認をしているが、財政的な面もあるため、文化財に関する看板については、国・県・市指定文化財の看板を優先的に修繕することとしている。また、緊急性を要する破損や連絡先等の内容が変更になった場合は、その都度、対応している。

③ 老朽化が進んでいるものや古いものを多く抱えているのが現状である。まずは、デジタル時代における観光看板の必要性を踏まえた既存の看板の整理を行い、その中で内容についても検討していきたいと考えている。

そのほかの質問事項

- 市民の経済状況について
- 第2次新城市都市計画マスタープランについて
- JR飯田線新城駅のトイレについて
- 田町川上流の河川工事について
- 資料のデジタル化について



村田康助
議員

動画でチェック▶



Q. 優良田園住宅制度の活用状況は。

A. 活用実績はない。

優良田園住宅建設の促進について伺う。

- 1 活用状況について。
- 2 将来的な優良田園住宅建設の展望は。
- 3 J R 飯田線野田城駅から鳥居駅の駅周辺の土地利用の可能性について。

建設部長

- 1 平成24年に優良田園住宅の建設に関する基本方針を定めてから、制度の活用実績はない。
- 2 本市が開発主体となりこの制度を活用して住宅開発を実施する

ことは想定していない。土地を手放したい土地所有者の方への情報提供や、事業者の方々へもこの制度を知ってもらうことを進めていき、改善点が見つければさらに見直しを行っていく。

- 3 J R 飯田線の野田城駅から茶臼山駅までは、ほとんどが市街化区域として土地利用がなされている。三河東郷駅、大海駅、鳥居駅周辺は、都市計画マスタープランに記載されている「定住促進住宅検討区域」として明示された区域から、今回、鉄道駅とバスの停留所が存する既存集落地、下水道法処理区域、農業集落排水処理区域と見直されたことから、駅周辺で建築物が50棟以上練たんしている集落であればこの制度を活用した土地利用の可能性が広がるものと考えている。

そのほかの質問事項

- ・ 林道雁峰線の復旧対応について
- ・ 災害農地について



浅尾洋平
議員

動画でチェック▶



Q. 市内の訪問入浴介護事業者数は。

A. 0 事業者。

本市の介護事業所の継続と介護サービスの充実について伺う。

- 1 東三河全体の介護状況と南部圏域、北部圏域の課題は。
- 2 市内の訪問介護の提供体制と訪問入浴サービスの現状は。
- 3 市独自の支援策や介護人材確保のための広報やイメージアップ施策は。

健康福祉部長

- 1 北部圏域は、南部圏域よりも居宅サービス事業所が少なく、施設・居住系サービスが多い状況と認識している。高齢者世帯の割合が高く、要介護認定率が高

い北部圏域では、生活支援となる居宅サービスのニーズがあるものの、広範囲に高齢者宅が点在し、効率的なサービス提供が困難なことが要因となり、事業者が不足していると考えている。

- 2 令和7年4月時点で、市内の訪問介護事業者は7事業者。訪問入浴介護は、市内で40名が利用しているが、市内に事業者がなく、いずれも市外の事業者を利用している。
- 3 市独自の支援策は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和2年度は37法人87事業所、令和4年度は37法人79事業所、令和5年度は36法人79事業所に対して交付金を交付した。イメージアップ施策については、広報紙において「福祉のお仕事」と題し、介護を含む福祉関係の施設や従事者を定期的に紹介している。

そのほかの質問事項

- ・ 買い物困難地域とオンデマンド交通について
- ・ 新城南部企業団地の産業廃棄物中間処理施設の悪臭対策について



齊藤 竜也
議員

動画でチェック▶



Q. シスタースクールの展望は。

A. シスタースクール制による部活動を継続していきたい。

- 1 シスタースクール制度、部活動の地域移行について伺う。
- 2 制度の利用状況は。
- 3 制度に対する保護者、児童生徒、学校からの意見は。
- 4 制度の長期的な展望は。
- 5 今後、部活動の完全な地域移行は想定しているか。

教育長

1 現在、33名の生徒がシスタースクールに移動して活動を行っている。合同チームを編成しても人数が足りない場合は、シスタースクール制の枠を超えて、

合同チームを編成して活動している。

2 生徒対象のアンケートでは、64%が満足しているとの回答があった。満足していない理由としては、「オフシーズンがあり、活動日数が減った」との意見があった。学校からは、「事務的な役割は増えたものの、他校の生徒と切磋琢磨しながら活動する様子が見られるようになった」などの意見があった。

3 平日は、可能な限りシスタースクール制による部活動を継続していきたいと考えているが、今後の生徒数減少により、合同チームを編成しても人数が不足する種目が増えていくと予想される。シスタースクール制を基本としつつも、学校間の柔軟な編成により可能な限り生徒がやりたい種目を選択できるように移動手段の確保を検討していく。

4 子どもたちがスポーツや文化活動を楽しめる場として「しんしるクラブ（仮称）」の創設を検討している。

そのほかの質問事項

● 作手診療所について



滝川 健司
議員

動画でチェック▶



Q. 本市が行う少子化対策は。

A. プレコンセプションケアやいのちの授業を実施。

子ども・子育て支援加速化プランについて伺う。

健康福祉部長

こども未来戦略の加速化プランに基づき、児童手当の拡充を含む子育て政策の給付が強化された。これに伴い、安定した特定財源を確保するために「子ども・子育て支援金制度」が創設され、令和8年度から段階的に導入される。この制度は、全世代・全経済主体から医療保険料とあわせて拠出される仕組みが整えられる予定である。未婚・晩婚化対策については、結婚や出産が個人的で繊細な問題であるため対策が難しいとさ

れる。本市ではプレコンセプションケアを推進し、若年層への正しい性や妊娠に関する知識の普及を令和5年度から実施している。令和6年度からは中学生向けのいのちの授業に「赤ちゃんふれあい体験」を導入し、さらに令和7年度から「幼児期の性教育」を実施予定である。これらを通じ、多角的な教育と啓発を行い、健康的なライフデザインを支援している。

市長

若者が子どもを持つのをためらう原因のひとつとして、雇用が安定せず賃金が上がらず、将来展望が描けていないことが考えられる。国の予算措置で可能な支援策に限られてしまっているため、社会全体の意識改革が必要だと感じている。女性の就労と育児の両立を解決していくために、環境を改善していく必要がある。

※プレコンセプションケア：若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の健康や生活に向き合うこと

そのほかの質問事項

● 市民病院経営と新病院建設について

● PTAについて

議案とは、議会の議決を経て、市または議会の意思を決定するため、市長または議員もしくは委員会が、議会に提出する案件のことです。

6月定例会

主 な 議 案 の 内 容

市議会6月定例会は6月10日から6月27日までの18日間の会期で開かれました。
この定例会では、条例の一部改正や補正予算など、市長提出議案8件が上程され慎重審議を行いました。

新城市税条例の一部を改正する条例の専決処分承認

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の税率区分について、規定を改めます。

新城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分承認

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額の見直し等について、規定を改めます。

令和7年度新城市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億5,824万9千円追加し、総額を254億2,824万9千円とします。

主な内容は、

- ・プレミアム付商品券事業
 - ・若者が活躍できるまち実現事業
 - ・学校給食共同調理場運営事業
- などです。

令和7年度新城市病院事業会計補正予算（第1号）

収益的支出の総額に992千円を追加し、総額を48億2,065万円とします。

主な内容は、NHKテレビ受信料の過年度未契約分として特別損失を増額するものです。

財産区管理委員の選任

山吉田財産区1名を、新たに任命します。

人権擁護委員の候補者の推薦

福田 真弓氏（新城地区）任期満了に伴い推薦します。

市道の路線認定

幽玄川の改修事業に伴い、市道を新設するものです。

令和6年度

政 務 活 動 費

政務活動費は、議員の調査研究そのほかの活動に資するため必要な経費の一部として、議員に対し、交付する金銭的給付のことです。交付額は、議員1人あたり月額1万2500円（年額15万円）です。残額は、市に返還されます。

（令和6年4月～令和7年3月分）

氏 名	交付額	支出額	返還額	主 な 使 途
カークランド陽子	150,000円	655,915円	0円	研修費、広報費
今 泉 吉 孝	150,000円	0円	150,000円	
小 林 秀 徳	150,000円	0円	150,000円	
竹 下 修 平	150,000円	141,570円	8,430円	広報費
齊 藤 竜 也	150,000円	0円	150,000円	
佐 宗 龍 俊	150,000円	62,365円	87,635円	研修費
鈴 木 長 良	150,000円	0円	150,000円	
浅 尾 洋 平	150,000円	101,188円	48,812円	広報費
柴 田 賢 治 郎	150,000円	0円	150,000円	
小 野 田 直 美	150,000円	0円	150,000円	
山 田 辰 也	150,000円	0円	150,000円	
村 田 康 助	150,000円	72,432円	77,568円	広報費
山 口 洋 一	150,000円	0円	150,000円	
長 田 共 永	150,000円	0円	150,000円	
鈴 木 達 雄	150,000円	0円	150,000円	
滝 川 健 司	150,000円	0円	150,000円	
中 西 宏 彰	150,000円	0円	150,000円	
丸 山 隆 弘	150,000円	187,634円	0円	広報費

※詳細及び過去の政務活動費については、議会ホームページでご覧いただけます。

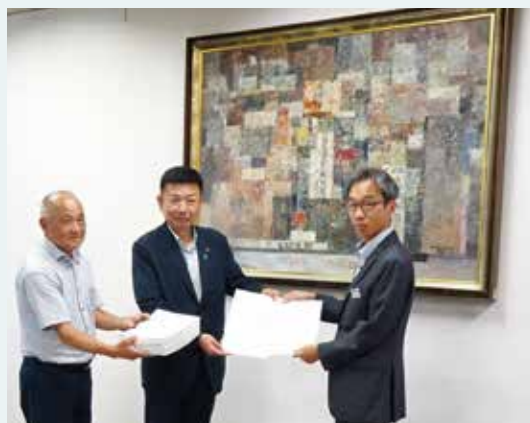
2件の意見書が可決され県に提出しました

愛知県立新城有教館高等学校作手校舎の存続を求める意見書

作手地区代表区長、作手地区学校運営協議会会長、作手校舎PTA会長及び同窓会長から、「愛知県立新城有教館高等学校作手校舎の存続を求める要望」の提出を受け、厚生文教委員会で審査が行われ、全会一致で採択となり、全員協議会を経て、定例会最終日に意見書が可決されました。7月7日に愛知県知事及び愛知県教育委員会教育長へ提出しました。

意見書の要旨

愛知県立新城有教館高等学校作手校舎には「新城市内中学校からの入学者が2年連続して20人未満となった場合、募集停止」とする条件があり、令和5年度26人、令和6年度19人、令和7年度16人となり、募集停止が懸念される。小規模校ならではの特性を生かし、きめ細やかな授業を実施することで成果をあげており、中学校時代に学業不振や不登校気味であった生徒たちが、作手校舎で学ぶことで自分の可能性を見つけ、努力する姿勢を身に付けていく例がいくつもあるが、募集停止となると、このような生徒の進学先がなくなってしまい、だれ一人取り残されることのない教育から遠くなる。作手校舎の人と自然科では、農業科目を中心に特色ある魅力あふれた教育活動を展開しており、花苗の配布や農業実習での生產品は地域のイベントで販売するなど地域の活性化の役割も担っている。また、作手校舎周辺は、作手総合支所・つくで交流館を中心に半径数百メートル以内にこども園・小学校・中学校が存在し、児童・生徒数の減少の中、交流学習や活動も、新城市教育委員会がめざす「共育」の輪に重要な役割となっている。作手地区の多くの人が同窓である作手校舎の存在は誇りであり、希望である。唯一の公共交通機関であるバスも高校生の利用が多く、作手校舎が無くなることで、廃止の恐れもあり、少子高齢化が進む作手地区において、過疎化は一層加速されてしまうことが懸念される。新城地区での生徒数の減少は明らかであり、条件を満たすことは厳しい状況にあるが、存続意義をご理解いただき、愛知県立新城有教館高等学校作手校舎の存続と入学者募集を継続するよう強く要望する。



新城南部企業団地の産業廃棄物処分業許可の更新に対して厳正な審査を求める意見書

「新城南部企業団地産業廃棄物処分業許可の更新に対して厳正な審査を求める意見書」が、議会運営委員から提出された。全員協議会を経て定例会最終日に全会一致で可決されました。7月29日に愛知県知事へ提出しました。

意見書の要旨

新城南部企業団地に進出した産業廃棄物中間処理施設が平成27年11月5日に操業許可を受け、平成28年4月から本格操業を開始した。本市は当該施設に対し、悪臭防止法に基づく指導権限者として操業開始以前から定期的に臭気測定を行い、当該施設の操業後から悪臭が発散されているのを確認している。令和2年11月の更新時には、愛知県に厳正な審査を求める意見書を提出したが、更新許可されている。それ以降における当該施設の悪臭発散状況は、1号基準の規制基準値に対し、令和4年に1回、令和7年に1回。また、2号基準の規制基準値に対し、令和4年に2回、令和6年に2回の基準超過が測定されている。とりわけ、1号基準の規制基準超過は悪臭防止法に規定されている「市民の生活環境が損なわれる」また、企業団地内の労働環境の観点からも大変憂慮すべきものである。

当該施設は通常の経年劣化に伴う施設の改善、改修等を行っているようだが、本市には市民から当該施設の悪臭に関する苦情が操業以来、10年間絶えることなく寄せられており、本市も定期測定での規制基準値超過時には事業者に対し、口頭、文書及び現地指導にて悪臭発散に対する指導を行うも、悪臭の発散は依然として続き、その成果が表れない。

よって令和7年11月の産業廃棄物処分業許可の更新にあたり、処分業に係る中間処理施設が法律の定める基準に適合しているか、特に「市民の生活環境」が損なわれていないか厳正な審査を求める。

議案番号	議 案 名	審議結果
報告 1	専決処分事項の報告（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
報告 2	令和 6 年度新城市一般会計予算の継続費に係る繰越計算書	〃
報告 3	令和 6 年度新城市一般会計予算の繰越明許費に係る繰越計算書	〃
報告 4	令和 6 年度新城市水道事業会計予算の建設改良費に係る繰越計算書	〃
報告 5	令和 6 年度新城市下水道事業会計予算の建設改良費に係る繰越計算書	〃
82	新城市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
83	新城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	〃
84	新城市税条例の一部改正	原案可決
85	令和 7 年度新城市一般会計補正予算（第 1 号）	〃
86	令和 7 年度新城市病院事業会計補正予算（第 1 号）	〃
87	新城市山吉田財産区財産区管理委員の選任	同意
88	人権擁護委員の候補者の推薦	異議なし
89	市道の路線認定	原案可決
意見 2	新城南部企業団地の産業廃棄物処分業許可の更新に対して厳正な審査を求める意見書	〃
意見 3	愛知県立新城有教館高等学校作手校舎の存続を求める意見書	〃

学校給食センターへ勉強会に行きました

令和6年9月より運用が開始された学校給食センターへ5月1日に勉強会へ行きました。

学校給食課長より、

- ① 学校給食センターの移行までの経緯
- ② 学校給食センターの概要
- ③ 委託業者の状況
- ④ 給食の内容
- ⑤ 給食費（保護者負担額）



についての説明があり、その後、学校給食センターの見学と当日に児童生徒に提供されたものと同じ内容の給食の試食会が行われました。試食会では、中学生に提供されている量を試食しましたが、満足できる量だと感じました。

見学通路については、給食が作られている調理場の一部を真上からのぞき込むような形であり、期待していた見学通路とは少し異なっていた印象でした。



【ティーズ】
(一般質問)



You Tube
(一般質問以外)



会議終了後、編集作業ができた次第、順次公開していきます。

インターネット議会中継

26日	22日	19日	18日	17日	12日	11日	10日	9月4日
議案の審議 本会議第5日	予算・決算委員会(予備日)	予算・決算委員会(決算)	予算・決算委員会(予算)	厚生文教委員会 総務経済委員会 議案の審議	一般質問(予備日) ※中継12ch 本会議第4日	一般質問 ※中継12ch 本会議第3日	一般質問 ※中継12ch 本会議第2日	本会議第1日 議案の審議

9月定例会日程(予定)

編集後記

6月定例会では全18名中16名の議員が一般質問を行いました。他の議会と比べてもかなり多い割合で、本市議会の誇りうるものです。本会議5日のうちほぼ3日が一般質問で、議会しんしろの紙面の多くを一般質問が占めているのも、それが議会・議員の大切な仕事だからです。一般質問は、それぞれの議員が本市の重要な課題や進むべき方向性を市長に問うもので、今の新城市がそこに見えてきます。ケーブルテレビでの中継や、市ホームページから録画配信を行っていますので是非ご覧ください。(鈴木 達雄)

広報広聴委員会

委員長／丸山隆弘
副委員長／鈴木達雄
委員／小林秀徳 竹下修平
鈴木長良 浅尾洋平

●ご意見・ご感想など、議会事務局へご連絡ください。

【電話】0536-2317657
【メール】gika@city.shinshiro.lg.jp
【入力画面QRコード】

